



アスリートの摂食障害 早期発見にチェックシート

2018年11月25日 4時58分

無理な減量などをきっかけにした摂食障害の治療につなげようと、女性アスリートの専門外来を持つ東京大学医学部附属病院は、摂食障害を早期に発見するためのチェックシート作りを進めていくことになりました。

去年4月に女性アスリート外来を設置した東京大学医学部附属病院が調べたところ、無理な減量などによる月経の異常を訴えて受診した93人のうち12%にあたる11人が、拒食症などの摂食障害と診断されました。しかし競技に出場したいため、医師にも摂食障害の症状を隠すケースが多くあったということです。

このため最初の受診で摂食障害の兆候を発見するためのチェックシートの制作を進めていくことになりました。

シートでは、「太ることが怖い」や「炭水化物を食べないようにしている」など体型や食事への強いこだわりや「食事のあと吐きたくなる」などふだんの行動を尋ねる質問項目を検討していて全国の婦人科で活用できるようにするということです。

女性診療科・産科アスリート外来の能瀬さやか医師は「シートを来年度中に完成させ、できるだけ早く摂食障害の専門的な治療につなげて、アスリートの心と体を守っていきたい」と話しています。

◀ 社会ニュース一覧へ戻る

シェアする



お住まいの地域の避難・災害情報は[こちら](#)

気象 [データマップ](#)



鉄道運行情報

ソーシャルランキング

この2時間のツイートが多い記事です



1

プロ野球 広島からFAの丸 巨人移籍へ

2

吉澤ひとみ被告に懲役2年 執行猶予5年の判決

3

2枚しかないゴッホの写真 1枚は弟でした

4

チケット不正転売禁止法案提出へ 今国会で成立見通し

5

秋篠宮さま きょう53歳に 大嘗祭めぐり政府決定と異なる意見

▼ [もっと見る](#)

アクセスランキング

この24時間に多く読まれている記事です